

## 2020 (令和二) 年度 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名	和文：低温レーザー干渉計 CLIO による重力波研究 (IV) 英文：Study of Gravitational-wave by cryogenic laser interferometer CLIO in KAMIOKA Mine (IV)
研究代表者	大橋正健
参加研究者	宇宙線研究所 田越秀行、三代木伸二、内山隆、宮川治、山本尚弘、 押野翔一、戸村友宣、早河秀章、上泉眞裕、古田清司、 東大地震研究所 新谷昌人 国立天文台 麻生洋一、高橋竜太郎 産業総合研究所 寺田聡一 富山大学 山元一広 長岡技術科学大学 高橋弘毅
研究成果概要	<p>2020 年度は、低温レーザー干渉計 CLIO を運転可能な状況に復帰させるための作業を開始した。具体的には、温湿度環境の維持を開始し、実験室内部の片付けと清掃作業による環境整備を推進した。</p> <p>以上の取り組みにより、CLIO 実験室内で光学系の作業が始められるようにしつつある。将来的には、KAGRA の高度化作業に向けた光学実験を可能としたい。</p>